

操作説明

本プログラムは、3 種類のサンプリング方法をサポートしております。 それぞれのサンプリングで スキャナを使用する/使用しないの選択が可能です	(C)2003,2004 SYSTEMHOUSE SUNRISE Inc.
 一定時間間隔でのサンプリング 2 種類の測定時間間隔を設定できます。 最初は短い測定時間間隔で、その後、長い測定時間間隔のような設定が可能です。 最大 36000 分までの時間間隔の入力が可能です。 	START PAUSE STOP SPOT 次のサンブルまで SEC 第小回数 回 R8340/K7002 Ver2
 1日毎に、指定された時刻での測定 1日当り最大2回の時刻指定で、65,000回までのサンプリングが可能です。 	FUNCTION 抵抗測定 副に用の名称
 指定された日数毎での測定 最大100日間間隔で、1,000回の測定が可能です。 	周正蚕切 条件 ● 電紅レジ ■ AUTO 10 μA トリガ FREE RUN ▲ 積分時間 1PLC ▲
一定時間間隔での測定を行なう時に選択します。	- 時間間隔測定 - 時間間隔測定 - 「マッダ マスクロール マ 経過時間 □ 日付時刻 - 日付日 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 -
指定時刻での測定を行なう時に選択します。	潮速見較 5 回 5 回 通電流チェック 時間部語 1 初 10 60 sec スタート後、実際に測定開始までの遅延時間 0.0 Min.
指定日数間隔での測定を行なう時に選択します。	Gr=10/FUX ① 介部測定器を使用 スキャナ使用 1 8340Uビジョン END END

共通入力事項



・シーケンス動作の設定 –

上記の「シーケンス動作」にチェックを付けると右画面が表示されますから プログラム番号を設定し、動作条件を各欄に入力します。 ・プログラム番号「0」は サポートしません。

・シーケンス・プログラムの詳細説明は測定器付属のマニュアルを参照下さい。



		「備考1」 「備考5」	」「備考 2)」「備 」でヘッダ情報	考3」「備考4」 としてExcel	グループ別の淵 の表示です。	则定ON/OFF		スキャ と同じ	ナの GP-IB アドレ 値に設定します。
「規格 Lo/Hi」と「停止 Lo/Hi」の条件入力の切 行ないます。	^{奥を}	シートに 付けます	こ入力する項目 す。	にチェックを	この部分をダご も、ON/OFF言	ブルクリックし 没定が可能です	って す。		
ブループ毎の試験 ON/OFF を設定します。	74++*#				\rightarrow				
0chを1グループとします。	スキャリ 奈叶 3回回	27.0.2	の沙ウレ料片						
規格Lo/Hi」の場合、判定値の下側と上側	j <u>i</u> lla	ヒナヤノイカ	KU EXALCHIA			4 5 6 1	8	GPIBZED	A 1• 3
D両方またはどちらかを入力します。ここで	<u>01</u> 10	GR0	UP01		$\langle \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \$				
の 現代値で アイル に 周 定 値は と に じ ク ー ド に が	11 20	GHANNEL	. 停止Lo 🍡	の換 停止Hi	☑ 備考1	🖸 備考2	☑ 備考3	☑ 備考4	☑ 備考5
停止Lo/Hi」の場合、この停止値を測定値		101	2300	4500	TEST01	A			
が外れると、その後、その試料は試験から自 動的に除外されます	<u>2</u> 130	☑ 02	• 2.3E+3	• 4.5E+3	TEST02	В			
もし、空欄の項がある場合、その項の判定は	31 40	M 03	3500			1		1	
無視されます。 また、ここでのλ力値の単位は「他の設定」で			3500			1		1	
没定した「表示単位」になります。	4150			6000			1	1	
「完に使用するチャンク」」を個別にチェック	5160	₩05		0000					
間定に使用するアドンネルを個別にアエック を付けます。		☑ 06							
他の設定、で「表示単位」に設定した単位が	6170	☑ 07							
長示されます。	7180							1	
先頭チャンネルの設定値を表示中の全ての		₩09					1		
チャンネルにコピーします。		☑10							#*`3
		Ch-010	の条件をコピー	上限/下限値の単位	4			1	共通リレニ番号
기내 지구는 전체 가지 않는 다 다 다 다 다 다 다 다 다 다 다 다 다 다 다 다 다 다				● 天 <u>州</u> 恒					
こOPERATEをOFFにします。チェックを外すと、	- ────────────────────────────────────	中、電圧を!	印加したままりし	ーを切り換える。	リレー切換後	、測定動作までの	ディレー	0.1 SEC	
DPERATEがONのまま、リレー切り換えを行い	図 測定動作	リ外の時間	は、常に雷圧す	・印加する。	-50 V 🔊	総合判定結果	Freely-	トに入力する。	QUIT
Eす。高電圧出刀時は、リレーか破損する場合か 5.りますので必ずチェックを付けてください。		517155-11-		- ストレス雷圧の)極弊切換リレー				
	風ストレス電	王の正負種	「性切換を行う。	+種性の時	10!1 10!2	10!15 10!16	−種性の	時 10!5 11	016 1019 1012
	/			/					
測定と測定の間は、R8340のOP	ERATEをOFF	にするか、	OPERATEをC	Nにして電圧をE	印加し続けるかの	D選択を行ない	ます。チェ	ックを付けた	場合は、測定
と測定の間、印加し続ける電圧値	(ストレス電圧ま	またはバイフ て P0240	アス電圧)を右の 0 の出力を逆転	○欄に入力します。 します	この電圧値に	は、測定に使用	目する電圧値	じとは別電圧で	す。 負の電
圧を八月した場合、極圧切換用の	リレーを使用し	C, R0340	リの山川を逆転	029.					
トロストカーたほグ味の切面にが	正極性/負極性/	かにより、F	R8340と試料と	の接続の極性を	アクチュエータリ	ノレーで切り掛	ゑ えます。ま	た、極性を反	転するための
「記(入力した油品時間加増片か		カード(716	69A)が装着され	ていない場合は	チェックを付けフ	ないでください	1。チェック	が付いていな	い場合は極性
エ記で入力した通常時印加電圧が リレー番号を入力します。アクチ	ュエータリレー	N = 1.(1.10)	00/ ()/J 2(E C 1	ст. ат			-		
上記で入力した通常時印加電圧が リレー番号を入力します。アクチ の反転は行なわれず、測定電圧と	ュエータリレー 同極性の電圧が	印加されま	す。 ここの ここの ここの ここの ここの ここの ここの ここの ここの ここ				T	1 左 頂」 十 十	

測定チャンネルを切り換えた後、そのチャンネルの測定開始までの遅延時間を入力します。

-スキャナの対応チャンネル設定 -

ここでは、本プログラムの示すチャンネルと7002の物理チャンネルの対応を設定します。 7002 に装着されたリレーカードの構成により設定が異なります。

リレーカードに搭載されているチャンネル数が、10ch,20ch,30ch,40chのどれか。
 10chごとにブロック分割するリレーを使用する場合としない場合。(ここでは、7169Aのカードを使用する、または使用しないの選択)

测定 <u>0</u> 110	Eチャンネルの マ GROUF	設定と判定値の入力 11 2 2 4 5 6 7 201	■ GPIBアドレス 7 ・	されますから、カード構成を設定し「OK」を クリックすると自動的にチャンネルが割り当て られます。
<u>1</u> 120		停止Lo 切換 停止Hi 備考2 ☑ 備考3 ☑ (2300 4500 A	* . ☑ 備考5 リレー æ - R [●] 2!1 ●	
<u>2</u> 130	2 02	2.3E+3 4.5E+3 B	2!2 •	の7002のチャンネルを入力します。 入力方法は7002本体のチャンネル指定方法
3140	☑ 03	3500	2!3 •	
4150	☑ 04	38	2!4	「「「「「「」」」」に「「」」」「「」」」「「」」」「」」」「」」」「」」」「
51 60	☑ 05	リレー番号の自動割り振り	2!5	インマンマンマンイン指定がある場合は、コンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマンマ
3100	☑ 06	カード1枚あたりのチャンネル数を指定して、「リレー番号」を 自動設定します。	2!6	^r 2!1,5!3,6!4 J
6170	☑ 07	カード1 枚あたりのチャンネル 数	2!7	
7180	08 ⊡	● 10ch ○ 20ch ○ 30ch ○ 40ch	2!8	
	☑ 09	✓ SLOT-1 をグループ別共通チャンネルに割り当てる。	2!9	10ch 毎に分割するするためのリレーカード (7169A)を使用する場合、各グループ毎の
	☑10	OK CHANCELL	2!10	↓ 共通になるチャンネル番号を入力します。 ↓ もし、10ch分割リレーカードを使用しない場合
	Ch-010ສ		は、この欄は全グループとも空欄にします。	
] 測定動作中] 測定動作り	中、電圧を印 以外の時間は	加したままリレーを切り換える。 UU-切換後、測定動作まで 、常に電圧を印加する。 -50 V □総合判定結 □ ストレス電圧の種性切換リレー	のディレー 0.1 SEC QUIT 果をExcelシートに入力する。	

出力電圧タイミングチャート	スキャン開	^{]始} Ch-1	Ch-2	スキャン終了 Ch-3	
	「山」、一切地後	 ・シーケンス動作OFFの時 トリガ遅延時間 ・シーケンス動作ONの時 チャージ時間 	[]		
・測定動作以外の時間は、電圧を印 出力 加しない。	電圧 ON 動作までの遅延	() [時間」			
・リレー切換時、オペレートを一時OFF する。		測定	測定	测定	_
 ・測定動作以外の時間は、常に電圧 を印加する。 	電圧				
・リレー切換時、オペレートを一時OFF する。	0N	测定			
・測定動作以外の時間は、電圧を印 加しない。	電圧				
・オペレートをONのまま、リレー切換 を行う。		測定 シーケンス動作	測定	測定	
		ONの場合			_
・測定動作以外の時間は、常に電圧 を印加する。	電圧		[·	
│・オペレートをONのまま、リレー切換 │を行う。		測定	測定	測定	—



測定開始後、途中から試料を追加する方法

「一定時間測定」モードの場合だけ、試験途中から新たに試料の追加が可能です。

測定を終了し、次の測定待ちの時間帯に「PAUSE」ボタンをクリックします。「変更」ボタンが現れます。ここで、「変更」ボタンをクリックするとスキャナ設定画面が表示されます。スキャナに新たに追加 する試料を取り付け後(下記参照)、このスキャナ設定画面で試験を追加するグループをONにします。ここで、新たに追加したグループは現在使用中のExcelシートとは別のExcelシートに測定値が入力されます。

(C)200	3,2004 SYS	TEMHOUSES	SUNRISE Inc.	×	l i
	START	<u>P</u> AUSE	<u>S</u> TOP	<u></u> <u></u> <u></u> врот	
次のサ	ンプルまで 🗌		SEC	変更	
Step	1 残り回数	3			

max r Q110 F 1120 CHP 2130 G 3140 G 4150 G 5160 G 6170 G	GROUPO4 ANNEL 判定Lo 31 150 32 1.51 33 34 35 35	切換)0 ;+3	判定Hi 2500 2.5E+3	☑ 備考1 X Y	☑ 備考2	✔ 備考3	☑ 備考4	☑ 備考5 □ □ □
Q110 C 1120 OHA 2130 III 3140 III 5160 III 6170 III	ANNEL 判定Lo 31 154 32 1.54 33 2 34 35	切換)0 :+3	判定Hi 2500 2.5E+3	☑ 備考1 X Y	☑ 備考2	☑ 備考3	☑ 備考4	☑ 備考5
1120 CHP 2130 Image: Chr and the state in the	ANNEL 判定Lo 31 15/ 32 1.55 33 2 34 2 35 2	切換)0 (+3	判定Hi 2500 2.5E+3	☑ 備考1 X Y	 ☑ 備考2 □ 	☑ 備考3	☑ 備考4	☑ 備考5
2130 21 3140 21 4150 21 5160 21 6170 21	31 150 32 1.50 33)0 :+3	2500 2.5E+3	Y				
2130 2: 3140 2: 4150 2: 5160 2: 6170 2:	32 1.51 33 3 34 35	*3	2.5E+3	Y				
3140 ☑ : 4150 ☑ : 5160 ☑ : 6170 ☑ :	33 34 35							
4150 ☑ : 5160 ☑ : 6170 ☑ :	34							
5160 6170	35							
6170								
6170	36	1	Î					
¥ 3	37							
7180	38							
	39							
	40							
Cł	h-31の条件をコピー	- 上限/	/下限値の単位 実測値					共通リレー番号
測定動作中、電	圧を印加したま	まリレーを	切り換える。	リレー切換	後、測定動作までの	のディレー	0.1 SEC]
測定動作以外の	時間は、常に電	(圧を印)	加する。	-50 V []総合判定結	果をExcelシー	トに入力する	QUIT
			- ストレス電圧の	極性切換リレー				

新たに試験する試料を追加する場合、「PAUSE」ボタンを押して試験を一旦停止状態に して新たに試料を取り付けますが、注意することは、この時、R8340は出力がONの状態 ですから、R8340の「LOCAL」ボタンを押した後、OPERATEをOFFにします。その 後、スキャナに追加する試料を取り付け、「変更」ボタンを押してプログラム上の試験追 加グループをONにします。グループを追加が「QUIT」ボタンで画面を閉じると、新し いExcelシートに追加したグループのヘッダ情報が入力されます。この時、必要なExcel シートが無い場合、自動的に新しいExcelシートが作成されます。

「PAUSE」ボタンを解除すると試験が再開されます。再開されると同時に、全試料の測定 を行います。

現在までの測定中のグループも、新しく追加したグループも測定は常に同時に行われま すから、現在測定中のグループの測定時間と同時に新しく追加したグループの測定も行 われます。

指定時刻測定の条件入力方法

測定器からデータの取込を開始します。	(C)2003,2004 SYSTEMHOUSE SUNRISE Inc.	データの取込を停止します。
測定中は「赤色」停止中は「灰色」となります。	START PAUSE STOP CHOIL 次の潮定日付 ・ 時刻 ・	測定開始後、即座に測定を行いたい時クリックします。
測定時刻を入力します。 「h」は 0 から 23 の範囲で入力します。 「m」「s」は 0 から 59 の範囲で入力します。	R8340/K7002 Ver2 FUNCTION 抵抗測定	次の測定日付が表示されます。
1日に2回測定を行なう場合に チェックを付けます。	測定器の条件 電流レンジ □ AUTO 10 v 他の設定	
測定スタートと同時に初期測定を行なう必要があ る場合にチェックを付けます。	10 µA □シーケンス動作測定 トリガ 」パンコン ▼ 積分時間 1PL0 ▼	測定を終了する日付を入力します。 ここで入力した日付の指定時刻の測定を終了すると 全ての測定を完了します。
電流制限の発生を定期的に確認する場合はチェ ックを付け、確認周期を入力します。 10から3600の範囲で入力します。 この機能は、測定と測定の間に常時電圧を印加し ている場合に機能します。 もし、電流制限の発生が確認された場合は、全チ ャンネルをスキャンし、電流制限を起こしたチャン ネルを検索し、そのチャンネルだけをオープンに します。オープンにしたチャンネル情報は、その日 付時刻とともにExcelシートに入力されます。 その後、測定は継続されます。	 時間間隔測定 時刻指定測定 日数間隔測定 ●00 h 00 m 00 s ●2003 年 ●2003 年<!--</td--><td>自動保存機能をON にします。 測定終了ごとに、現在のExcel ブックの上書き保存 を自動的に実行します。</td>	自動保存機能をON にします。 測定終了ごとに、現在のExcel ブックの上書き保存 を自動的に実行します。
により決まります。	R8340レビジョン (Sundis) 作家 #11 (Sundis) 作	

指定日数間隔測定の条件入力

測定器からデータの取込を開始します。 ――		データの取込を停止します。
測定中は「赤色」停止中は「灰色」となります。	CO2003,2004 SYSTEMHOUSE SUNRISE Inc. START PAUSE STOP SPOT 次の測定日付 時刻 ●	ーーーー 測定開始後、即座に測定を行いたい時クリックします。
測定間隔の日数を入力します。 1から30の範囲で入力します。	R8340/K7002 Ver2	次の測定日付が表示されます。
「START」ボタンをクリックすると 直ちに 初回の測定を行い 次の測定日には 初回 と同じ時刻に測定が行なわれます。 \		次の測定時刻が表示されます。
測定回数を入力します。 1から1000の範囲で入力します。	All た るの 条 H 電流レンジ ■ AUTO 10 μA 10 μ 10 μA □シーケンス 動作測定 Hリガ パソコン ▼ 積分時間 1PLC ▼	
電流制限の発生を定期的に確認する場合 はチェックを付け、確認周期を入力しま す。10から3600の範囲で入力します。 この機能は、測定と測定の間に常時電圧 を印加している場合に機能します。 もし、電流制限の発生が確認された場合 は、全チャンネルをスキャンし、電流制 限を起こしたチャンネルを検索し、その	 時間間隔測定 時刻指定測定 日数間隔測定 測定問題日数 3 周定回数 8 回 通電流チェック周期 60 5ec 自動(保存● 	自動保存機能をONにします。 測定終了ごとに現在のExcel ブックの上書き保存 を自動的に実行します。
テャンネルだけをオーブンにします。オ ーブンにしたチャンネル情報は、その日 付時刻とともに Excelシートに入力され ます。 その後、測定は継続されます。 過電流値は R8340 に設定した「制限電流 値」により決まります。	GP-IBアドレス 小部測定器を使用 1 ・ AP-IBアドレス 小部測定器を使用 R8340レビジョン R 空K END ・	

測定値を Excel に入力した例

スキャナ無しでの測定結果例

	А	В		С		D		E		F									
1																			
2		日付時刻	経道	時間(sec)	電圧印:	加電流測定の	A) 外	部測定署	器										
3		2003/10/06 18:54%	15	 		0.98	340 0	101422	1132										
4		2008/10/06 18:51:	16	1		0.00	057 0	761.00	20.21										
4		2003/10/00 10.34.4	+0			0.00		0.70120	2021										
5		2003/10/06 18:54:4	+/	2		0.78	<u>936 (</u>	J.26804	3816										
6		2003/10/06 18:54:4	18	3		0.54	419 (0.85741	1265										
7		2003/10/06 18:54:4	19	4		0.45	514 (0.41537	6365										
8		2003/10/06 18:54:5	50	5		0.40	069 (0 69889	0448										
9		2003/10/06 18:54	51	6		0.59	314 (194507	2234										
10		2008/10/06 18:54:	50	7		0.00		152100	0604			_	·		- /= -		No.		
10		2003/10/06 10.54.	20	, ,		0.00	192 0	240440	404.0				いキャ	アフタ	ピ伊月	ヨしな	こ測ス	E結果例	IJ
11		2003/10/06 18:54:	53	0		0.0		.16442	4010										
12		2003/10/06 18:54:	A	B		С	D	E	F	G	н	I	J	K	L	M	N	0	
13		2003/10/06 18:54:	1	The second se				-		-									
14		2003/10/06 18:54:	2	电圧다/加电/////	N/E/MAV	\$2;品04月月()	经合制字	0 -1	0 = 2	0	Oh-4	Oh-F	04-6	0 k=7	0 -	O h=0	06-10	別が削雪県	_
15		2003/10/06 18:54:5	4	010480		4至1回04181/88C/	站口刊上	TESTO	TEST02	TESTOS	TEST04	TESTOS	TEST06	TEST07	TESTOR	TESTOR	TEST10	2 PED/RULE BB	
16		2002/10/06 19545	5					ABC	ABC	ABC	ABC	ABC	ABC	ABC	ABC	ABC	ABC		
10		2003/10/00 10.34.	6					A001	A001	A001	A001	A001	A001	A001	A001	A001	A001		
17		2003/10/06 18:54:	7					B001	B001	B001	B001	B001	B001	B001	B001	B001	B001		
18		2003/10/06 18:55:0	8					C001	C001	C001	C001	C001	C001	C001	C001	C001	C001		
19		2003/10/06 18:55:0	9	2003/10/0	5 18:49:21	0		0.0449	0.4824	0.2060	0.8645	0.5886	0.7549	0.9279	0.3310	0.5429	0.0807	0.254601896	C
20		2003/10/06 18:55:0	10	2003/10/0	5 18:49:24	3.109		0.1146	0.9234	0.6202	0.3477	0.1492	0.4800	0.2194	0.9937	0.1304	0.0289	0.634371936	0.4
21		2003/10/06 18:55(12	2003/10/0	18:49:27	9109		0.5382	0.9064	0.5409	0.8262	0.5091	0.7219	0.6192	0.3398	0.6808	0.8866	0.345391631	0.0
00		2008/10/06 18:55	13	2003/10/0	5 18 49 33	12109		0.1503	0.5298	0.2233	0.5845	0.3635	0.8760	0.0102	0.4000	0.6841	0.0000	0.370515347	0:
22		2003/10/06 18:55:	14	2003/10/0	18:49:36	15109	NG	0.8078	0.2026	0.9568	0.0659	0.0615	0.7932	0.3796	0.4636	0.1195	01155	0.613934934	0.
23		l 2003/10/06 18:55:0	15	2003/10/0	18:49:39	18109		0.5330	0.561.0	0.2167	0.4680	0.7464	0.7523	0.3989	0.9031	0.7460	0.0886	0.173773408	0.0
			16	2003/10/06	5 18:49:42	21.109		0.4311	0.4020	0.2753	0.9854	0.8026	0.6961	0.4176	0.7345	0.2772	0.3566	0.634571135	0."
			17	2003/10/0	5 18:49:45	24.109		0.6460	0.3478	0.1044	0.1854	0.0777	0.4328	0.9593	0.5420	0.4944	0.9730	0.433457136	0.5
			18	2003/10/06	5 18:49:48	27.109		0.2815	0.5034	0.1387	0.5173	0.9654	0.5575	0.9092	0.6573	0.4411	0.6930	0.217799842	0.(
			19	2003/10/0	5 18:49:51	30.109		0.4971	0.1554	0.2237	0.3261	0.7845	0.0503	0.5180	0.7570	0.8007	0.3252	0.064491153	0."
			20	2003/10/06	5 18:49:54	33.109		0.9051	0.8758	0.4166	0.1231	0.9542	0.7973	0.6963	0.4016	0.0163	0.1678	0.972729027	0.8
			21	2003/10/0	5 18:49:57	36.109		0.1061	0.2761	0.6430	0.8491	0.4980	0.1878	0.8966	0.3728	0.3236	0.7708	0.164234161	0.5
			22	2003/10/06	18:50:00	39.109	NG	0.8784	0.6104	0.3744	0.3895	0.8606	0.5859	0.9316	0.5172	0.3303	0.8685	0.218000352	0.4
			23	2003/10/0	6 18:50:03	42.109		0.3470	0.0025	0.7423	0.8409	0.2786	0.7030	0.4049	0.8116	0.7418	0.4377	0.259060979	0.1
			24	2003/10/06	18:50:06	45.109		0.7106	0.3123	0.7988	0.1518	0.5930	0.9562	0.2431	0.9400	0.1143	0.9843	0.077980578	0.4
			25	2003/10/0	6 18:50:09	48.109		0.5749	0.2452	0.8602	0.0750	0.4388	0.7600	0.2457	0.3786	0.3972	0.5266	0.632975817	C
			26	2003/10/06	18:50:12	51.109		0.0787	0.8954	0.1114	0.6524	0.9003	0.2316	0.9499	0.8462	0.4412	0.4920	0.270359218	
			27	2003/10/06	6 18:50:15	54.109		0.1955	0.3262	0.4132	0.1527	0.6198	0.0994	0.2050	0.6925	0.5045	0.1831	0.769506812	0.8
			28	21	003/10/06	18:50:20	短絡チャン	1											
			29	2003/10/0	5 18:50:21	60.938			0.1881	0.9795	0.8721	0.5815	0.7294	0.1450	0.2578	0.0282	0.8279	0.991402447	0.4
			30	2003/10/0	5 18:50:23	62.797			0.4509	0.5551	0.8033	0.5640	0.2036	0.2076	0.3647	0.5735	0.3442	0.783374012	0.1
			31	2003/10/0	6 18:50:25	64.656	NG	1	0.0500	0.5476	0.2065	0.9627	0.9331	0.9926	0.8396	0.4093	0.8053	0.528229654	0.4
			32	2003/10/0	18:50:27	66.516		1	0.6946	0.0170	0.3391	0.6925	0.1104	0.1 097	0.2906	0.3989	0.5590	0.989428222	0.:
			33	2003/10/0	5 18:50:30	69.109		1	0.3096	0.3758	0.4010	0.8414	0.4096	0.7246	0.6588	0.4064	0.9503	0.31 0951 65	0.;
			34	2003/10/0	5 18:50:33	72.109			0.5828	0.7485	0.4565	0.9044	0.2830	0.6675	0.8901	0.2814	0.3681	0.645570934	0.5
			35																

外部測定器(マルチメータ等)の設定方法

外部測定器とはGP-IB でパソコンと接続されている必要があります。(下図) 外部測定器から送られてくるデータのフォーマットは、ASCIIであり、複数のデータの場合(Max10個)、データ間はコンマで区切られている必要があります。 注)外部測定器からのデータ取り込みは、全ての測定器との通信を保証するものではありません。



ハードウェア構成



KEITHLEY 7002リアーパネル





初めて 7002 にリレーボードを挿入する場合、ボードが 70xx の場合は自動認識されますが、 7154 や 7169A は認識されませんから、下記のように手動で各ボードを認識させます。





カード番号を選択して、「ENTER」を押す。 「EXIT」キーで設定を終了する。